



伊藤直輝さん(上関)



若林尚希さん(下関)

# 甲子園出場 おめでとう!!

関川球児バッテリーで夢の舞台へ

日本文理高校野球部

伊藤 直輝さん(2年・上関)

若林 尚希さん(2年・下関)

三月二十一日から阪神甲子園球場で開催される「第八十一回全国高等学校選抜野球大会」の選考会が一月二十三日に行われ、北信越地区代表として日本文理高校が選抜されました。

日本文理高校野球部には、小学五年生の頃からバッテリーを組んでいる投手の伊藤直輝さん(上関)と捕手の若林尚希さん(下関)が所属しています。

二人は、選抜出場校選考の重要な資料となった秋季北信越大会で全試合に出場し、優勝に大きく貢献。夢の舞台への切符をつかみました。

関川球児がバッテリーとして甲子園の土を踏むのは初の快挙。関係者だけでなく、村全体が沸いています。

選抜大会は三月十三日に組み合わせ抽選会が行われ、三月二十一日から十二日間の日程で熱戦が展開されます。

## 甲子園応援事務局からお知らせ 甲子園球場で関川球児の活躍を応援しませんか?

今回、住民の有志で発足した「甲子園応援事務局(渡辺辰也代表・上関)」では、大勢の村民の皆さんから現地でも応援してもらおうと、現在「応援ツアー」を計画しています。また、バスの確保や応援移動費の軽減を目的に、皆さんからの寄付金についても募集しています。

と き 3月21日(土)以降の日本文理高校の試合日  
交通手段 貸切バス(予定)  
その他 詳細は今後お知らせします

## 投稿

「みんなで考えよう」

地球温暖化 ②

平田 時夫(滝原)

### 環境教育

「明日では、エコは間に合わない!」

これは、NHKテレビでの地球温暖化防止PRです。朝の時間に放映されるので、見逃す方もあるかも知れませんが、身近なことを認識しながら、

私たちは毎日の生活の中で無駄な浪費がたくさんあります。例えば、「レジ袋をみんなまでエコ袋に変えて買い物をしたら?」と思っても実行出来ない現状です。何故でしょうか?

穏やかな元旦を迎えた朝、最初に新聞を見ると、ひと抱えもある新聞紙がどっさり…。紙面の内容は、豪華版新年のごあいさつ状で埋め尽くされている。世界経済危機の中の日本で企業広告を批判することは出来ないが、資源の無駄・浪費に等しいと思われるも仕方がない。こんな生意気

で、もっともらしいことを言うことと必ず反論がある。それは再生利用(リサイクル)として、トイレトペーパー等に出来るではないか?確かにそうかも知れませんが、高額の再生経費が必要であることを考えなければなりません。

新潟県で作成された冊子「新潟県のかんきょう」。この表紙絵の「残そう守ろうこの美しさ」は、平成十八年度自然保護ポスター原画コンクール最優秀作品で、当時、関川中学校三年生の佐藤嘉織さんの作品です。この冊子をぜひ、もう一度中学生の皆さんに読んでいただき、環境問題を勉強してもらいたい。

データが少し古くなりますが、平成十六年度の新潟県民一人あたりの一日のゴミの排出量は千三百三十二kg、全国平均では千四百四十九kg。比較すると百八十三kg、新潟県民が多いことになりました。

# 旧米沢街道の歴史・文化を学ぶ

## 越後米沢街道・十三峠交流会

十一月二十一日と二十二日の二日間、「越後米沢街道・十三峠交流会」の学習会が関川村を会場に開かれました。

交流会は、新潟県と山形県を結ぶ重要な道だった米沢街道と十三の峠を地域振興の資源として活用しようと、関川村や山形県小国町、飯豊町、米沢市の沿線自治体、地元住民が中心となり昨年の一月に

発足。これまで、峠の調査やウォーキングなどが行われてきました。

今回の学習会は、関川村の大里峠や国重文・渡邊邸などが伝える米沢街道の歴史を学ぼうと企画され、山形県や関川村などから総勢約八十人が参加。初日は、米沢街道の歴史や各峠の活動状況の発表、大蛇伝説「大里峠」の紙芝居



上演会などを実施。また二日は、ふれあいど〜むに展示してある四代目の大蛇や渡邊邸などを見学しました。

## 関川村消防団

### 新年を迎え村内各地で出初め式

自然豊かな関川村では、平成十五年十二月に、地域新エネルギービジョン報告書が作成されました。「生活と自然のエネルギーがよりそう村・せきかわ」と題した素晴らしい報告書は、すでに広報せき

かわで紹介されていますが、ビジョンに基づいた新エネルギーの導入はこれからだと思います。今回は「低炭素社会とは？」をみんなで考えることにしたいと思います。

一月十二日、第二分団第二部（高瀬・沢・湯沢）で出初め式が行われ、団員二十四人が参加しました。

当日は、集落内の消火栓や防火水槽の点検、除雪作業を実施。また、点検の最後には放水演習を行って一年の無火災を祈願しました。



堀朋和部長（沢）は「昨年は当地区での火災や水害が無く良い年でした。今年も火災など無いよう団員一丸となって啓発活動をしていきたい」と、気を引き締めていました。また、湯沢コミュニティの渡辺達英会長（沢）は「消防団には、集落防災訓練などでも活躍してもらっています。今後住民の生命・財産を守る活動に期待しています」と話していました。



## 子どもたちのまゆ玉飾り

### 大島保育園で小正月行事

1月22日、大島保育園で小正月行事の「まゆ玉飾り」が行われました。

子どもたちは、地域のおばあちゃんたちと一緒に紅白の「まゆ玉」を作って、ひとつずつミズキの木にさしていきました。そのほか、稲穂に似せた「ぬいご」や、手焼きした昔ながらの「せんべい」、折り紙で折った鶴なども飾られ、きれいなだんごの木が完成しました。

交流会の井上俊雄会長（山形県飯豊町）は「交流会を通じて心のつながりもできた。今後力を合わせて街道や十三峠を盛り上げたい」と話し、参加した皆さんは関川村の文化や歴史などを学びながら、交流を深めていました。